

# 酪農経営における後継牛の確保(交配計画作成)支援

畜産技術センター普及指導課

実施期間:平成28年～令和6年

## 課題・目的

■生乳を安定生産するには、計画的に後継牛を確保し、搾乳頭数を維持することが重要である。県内においては、後継牛確保に課題があり、牛床稼働率が低下する酪農家が多く見られた。

■そこで、モデル農家に対し交配計画の作成を支援することで、優良な後継牛を確保すると同時に、和牛子牛販売による副産物収入を確保し、酪農経営の安定化を目指した。

## 活動内容

■年間2～5戸のモデル農家を選定し、診療獣医師・家畜保健衛生所と協力して、継続的に支援を行った。

■交配計画の作成支援では、繁殖成績の確認と課題を洗い出すとともに、性選別精液の利用および和牛受精卵の移植を推進した。

■同時に代謝プロフィール(生化学検査)、飼料設計の見直し、環境測定による暑熱対策の検討や搾乳衛生指導など、各モデル農家の状況に応じて、多面的に飼養管理の改善指導を行った。



BCSを確認する普及員と生産者

## 具体的な成果

■性選別精液の利用と繁殖成績の改善により、モデル農家のうち約60%で効率的な後継牛確保が進み、牛床稼働率の改善がみられた。また、約50%で取組開始1年後に、和牛子牛の生産頭数が増加した。

■性選別精液の利用による確実な後継牛確保と、和牛子牛販売による副収入確保は県内酪農家でも広く取られるようになり、酪農経営の安定化に寄与した。